

視点(2400)

(流通経済編)

ポジティブ型支出とネガティブ型支出!!

(1) 支出の概念

支出(ここでは投資と費用と同一用語として用いる)はGDP(国内付加価値の創出の総額)を増加させますが、成果の持続性の観点から見ると「**ポジティブ型支出(投資・費用)**」と「**ネガティブ型支出(投資・費用)**」の2つのタイプがあります。

- ① **ポジティブ型支出**とは、世の中に本質的にあって欲しいものの存在の創出によって波及的かつ通増的にGDPを拡大させることが可能な支出です。
- ② **ネガティブ型支出**とは、世の中に本質的にあってはならない存在の解決によって、本来的には非波及的かつ通減的にGDPを縮小させる支出です。すなわち、本来は世の中にあってはならない存在を解消させるために今後の課題を未然に防ぐための支出で、それゆえに今後の支出を逡減することが可能です。

(2) イノベーションと支出(投資・費用)の概念

① ポジティブ型支出とイノベーション

イノベーション(革新)には破壊的イノベーション(過去の延長線上ではない創造型革新)と継続的イノベーション(過去の延長線上の範囲内の連続型の革新)があります。

イ. 破壊的イノベーションは、世の中で斬新さがあるため、完成度高く成功すると「**成果が高く**」かつ「**波及効果(支出乗数)**」が高くなります。

ロ. 継続的イノベーションは、斬新性より機能性の維持のレベルの革新であるため、イノベーションの成果は次の通りです。

世の中の進展のスピードより 速いスピード の持続的イノベーション	成果は比較的高い成果
世の中の進展のスピード 同じ速さのスピード の持続的イノベーション	成果は一時的に高いが、結果的には維持レベルの成果
世の中の進展のスピードより 遅いスピード の持続的イノベーション	成果はなく、結果的には減少レベルの成果

② ネガティブ型支出とイノベーション

本来、世の中にあってはならない存在の解決(解消)のための支出であるため、現在の支出(投資・費用)が将来の支出を減少させることができる支出です。しかし、問題解決・解消のネガティブ型支出でありながら、現在の支出が将来の支出の節約・減少にはなっていない継続的なネガティブ型支出が多くあり、成果のないネガティブ型支出は他の産業への波及効果(支出乗数=波及効果の倍数)が少なくなります。ネガティブ型支出は、GDPを高める効果はありますが、持続可能性は希薄で、GDPの寄与度は低くなります。

例として、医療費や安全保障費(国防費)がネガティブ型支出の代表です。他にも、交通事故や地震・水害の災害等たくさん存在します。

- ・日本全体の医療費は45兆円です。将来的(2040年)には70~80兆円になると推定されています。
- ・日本の防衛費は5.5兆円ですが、完全自主防衛費(仮想敵国に勝つための国防費)は潜在的に20兆円、部分自主防衛費(攻められた時に全体的に勝つのではなく、特定のエリアのみで勝つための国防費)は潜在的に10兆円と推定されています(日本は日米安全保障条約で5~15兆円節約されています)。

(3) ネガティブ型支出への対応

ネガティブ型支出(投資・費用)は、現在の支出は一定期間に増大するが、将来的には課題を解決すると逡減して、半減する戦略が必要です。現状の医療費や安全保障費は本来の目的である安心(病気からの安心)や安全(侵略国からの安全)の完成度の高いレベルを確保するためには半永久的に支出増大が莫大な金額の増加が続き、しかも本質的には問題解決しない状態です。この根本的なネガティブ型支出の戦略的解決策を講じないと解決できない支出を永遠に増加して、GDPの潜在的成長を希薄化します。巨大なネガティブ支出を戦略的に考慮するイノベーションを行い、節約された支出を効果の高い支出に投入して、GDPの成長戦略を構築しなければなりません。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺₈
代 表 六 車 秀 之